

研 究 者 各 位

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所長 國中 均

2022年にオーストラリアでの気球実験を希望する実験計画に関する情報提供のお願い

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所では、JAXAの大学共同利用システムに基づき、宇宙科学研究のための成層圏気球(大気球)による飛翔機会を提供し、毎年大気球を利用した実験を公募しています。

特に、JAXAが主体となって実施する国外での気球実験計画であるオーストラリア気球実験では、大型ペイロードの10時間以上の長時間飛翔や陸上での回収を実現することができます。本年8月23日に発出した公募(19宇航科気キ0819001)では次回のオーストラリア気球実験は2021年を目途に実施を計画するとして実験提案を公募しましたが、JAXA 宇宙科学研究所では2022年3~5月にもオーストラリア気球実験を実施する可能性を検討することとなったことから、2022年であれば実験実施を希望する実験計画の有無について確認するため新たに情報提供を求めます。なお、2022年にオーストラリア気球実験を実施することは現段階では未確定であり、予算計画や他の実験の準備状況等により実施されない場合もあることをご承知おきください。

情報提供をされる方は、添付の気球実験提案書の様式を用いて必要事項をご記入のうえ、宇宙科学研究所科学推進部ISAS公募事務局宛に電子メールにてお送りください。

1. 実験提案(情報提供)書に記載すべき事項

実験提案(情報提供)書には研究目的、研究計画等を申込書の指示に従って記述してください。また実験提案(情報提供)書の記述には図表を入れられませんので、図表を必要とする場合は対応関係が明らかになるようにして図表をPDFまたはWordファイルで添付してください。また実験提案(情報提供)書の記述を補足する内容を添付文書としていただいてもかまいません。記述に求められる詳細さについて疑問がある場合には4. に示す問合せ先までご連絡ください。

2. 募集期間 2019年12月27日(金)~2020年1月31日(金)17時(必着)

3. 実験提案(情報提供)書送付先

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所科学推進部ISAS公募事務局
電話 (042)759-8020

電子メールアドレス koubo-isas(アト)ml.isas.jaxa.jp ※(アト)を@にかえてお送りください
電子メールの件名に必ず【2022年豪州気球実験情報提供】と明記してください。

4. 大気球実験に関する技術的な問合せ先(実験提案(情報提供)書の記入事項に関する質問を含む)

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
宇宙科学研究所大気球実験グループ

電子メールアドレス DAIKIKYU(アト)jaxa.jp ※(アト)を@にかえてお送りください
電子メールの件名に必ず【気球実験情報提供問合せ】と明記してください。

5. 申し込みに際しての注意点

- (ア) 実験提案(情報提供)書はPDF化せずに、Word形式のままご提出ください。
- (イ) 2022年にオーストラリア気球実験を実施するかの判断は、2020年6月頃行う予定です。実施と判断された場合には、直ちに2022年に実施する気球実験の選定を行います。輸送コスト節減のために、2022年の実験実施に必要な気球等の JAXA が担当する機材を、2021年実施分の機材と合わせて2020年11月に輸送することとなりますので、選定後速やかにペイロードの仕様を確定させる必要があります。
- (ウ) 実験計画の最終的な採択は、宇宙科学研究所の予算状況等を検討のうえ、2021年4月(予定)に行われますが、2022年にオーストラリアで実施するものとして選定された実験計画については正式な採択を待たずに宇宙科学研究所大気球実験グループが実験準備を支援します。
- (エ) 実験計画が採択された場合、研究者(JAXA職員を除く)、大学院生(総合研究大学院大学物理科学研究科宇宙科学専攻の方、東京大学大学院学際理工学講座の方、JAXA特別共同利用研究員等、JAXA職員を指導教員とされる方を除く)の方々をそれぞれ、「大学共同利用システム研究員」、「大学共同利用システム研究員補」として登録し、宇宙科学研究所ユーズオフィスより各種サービスを提供します。
- (オ) 国内外でJAXAが実施する気球実験では、ペイロード部(実験装置)は提案者が用意し、JAXAが実験に適した気球の飛翔運用(関係機関との調整を含む)を行います。ペイロード部に係る運用経費(試験経費、旅費等)は提案者の負担となります。
- (カ) 実験終了後には、大気球シンポジウムでの成果の発表をお願いします。また、実施年度末に成果報告書を大気球専門委員会に提出いただきます。
- (キ) 研究成果の公表の際には、その論文、報告、プレスリリース等に「宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所が提供する大気球による飛翔機会」を利用した旨を明記してください。なお英文の場合は以下の例を参考に謝辞等で明記してください。
 - The scientific balloon (DAIKIKYU) flight opportunity was provided by ISAS, JAXA.
 - The balloon-borne experiment was conducted by Scientific Ballooning (DAIKIKYU) Research and Operation Group, ISAS, JAXA.
- (ク) 研究成果として公表された論文、報告等については、宇宙科学研究所の求めに応じて定期的に提出をお願いします。